



バケツ稲「恋の予感」で カレー作りに挑戦!

三原市立本郷小学校5年生62人は2月18日、バケツ稲で栽培した米「恋の予感」を使い、カレーを作りました。具材には、やさふれあい市場の生産者が栽培したブロッコリーやレンコン、ダイコンなどを使用。栽培から収穫、食べるまでを経験することで食と農への関心を深めました。

児童は、昨年度5月からバケツ稲作りに取り組み、本郷アグリセンター職員から栽培管理や収穫手順を教わりながら年間を通して米作りを学習。収穫した米と地元野菜を使ってカレーを作り、登下校



▲バケツ稲の米と地元野菜を使ったカレーライス

時の安全を見守り学校行事に協力してくれる地域の人へ感謝の気持ちを込めて振舞いました。

同小学校の突田健成君は「自分で栽培したお米を使って作ったカレーはいつもよりおいしい」と笑顔で話しました。



▲丁寧に選別される「広島わけぎ」



特産「広島わけぎ」 ひな祭りに向け出荷最盛

三原市木原町で2月下旬、特産の「広島わけぎ」が出荷最盛期を迎えました。「広島わけぎ」は辛味が少なく、甘味のある味わいと豊

かな香りが特徴。一つの球根から株分かれしながら成長するため子孫繁栄の象徴として、古くからひな祭りの行事食としても親しまれています。

同市では明治初期から栽培が始まり、現在はJAひろしま三原わけぎ部会に所属する35戸が4・6haで栽培。本年度は生育期の猛暑や少雨、収穫時期の寒波などの影響で生育が抑制され、例年より長さが短い傾向にありますが、食味は良好に仕上がりました。



PB商品「自然熟はるみ」 食味・外観に自信◎

JAせとだ選果場で2月15日、PB(プライベートブランド)商品「自然熟はるみ」を初出荷しました。緑の葉とオレンジの果実が織りなす美しい色合いと、濃厚な甘味が楽しめる贈答用に人気の商品。雨風や鳥獣害を防ぐため施設で栽培し、果実を通常より2カ月以上長く樹上にならせて熟度を高め、葉付きのまま収穫します。

本年度は、秋口の好天により日照量が多かったことで増糖と減酸が進み、食味の良い仕上がりとな



▲「自然熟はるみ」を収穫する村上さん

りました。

瀬戸田町で「自然熟はるみ」を栽培する村上広大さんは、ハウス内の温度や水分管理を徹底し、有機質肥料を使った土づくりにもこだわっています。「露地にはない特別なおいしさと見た目の美しさを楽しんでほしい」とPRしました。



フレッシュミズ研修会 地元産大豆でみそ造り

JA女性部三原地区本部は2月22日、三原市の本郷生涯学習センターでフレッシュミズ研修会を開き、みそ造り講習会を行ないました。女性部活動を知ってもらおうと企画し、食と農に関心がある子育て世代を中心に募集。15人が参加し、同市産の大豆や米を使ってみそ造りを体験しました。

講師には同市高坂町で有機農業を営む「桜の山農場」の坂本梨恵子さんを招き、みそ造りに必要な食材や作り方の手順、保管方法などについて説明を受けました。参加者は米こうじと塩を手で擦り合わせたり、煮た大豆をすり鉢とす



▲楽しく交流しながらみそ造りを体験した参加者

りこぎで丁寧につぶしたりと楽しく作業を進め、自分のみそを持ち帰りました。



水 稲

代かき

代かきは土壌を細粒化することにより、漏水を防ぐと共に、有機物の分解による窒素の無機化を促進し、水稻の生育を進めます。

一方で、前作の稲わらが十分に腐熟していない状態では、土壌の還元化(酸欠)を過度に進め、水稻の生育に悪影響を及ぼす場合があります。

そのため、代かきは土壌中の酸素を残すように心掛け、作土全体を泥状にしないよう回数や深さなどを判断する必要があります。

健全な水稻の生育には、表層(最大5cm)は細かく、下層は塊状で酸素を多く含む状態が有効です。

粘土質の圃場ほど、浅く代かきするようにしましょう。

代かき時の基肥施用

基肥に使用する化学肥料の窒素は、畑状態が長く続くと、湛水後、窒素ガスに変化するため、水稻の窒素利用率が低下します。

特に、春先に土壌が乾いている状態では、基肥散布から湛水開始まで10日以上空けないよう注意しましょう。

化学肥料を全層施肥する場合は、基肥散布後、なるべく早く耕起と湛水を行なうことが大切です。

代かき後の濁水流出防止

水田から代かき後の濁水が流出すると、肥料成分や分解されていない被覆肥料の殻なども共に流出することになるので、下流域の環境汚染につながります。

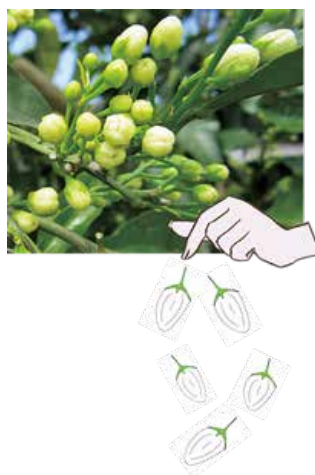
次の流出させないためのポイントを守り、環境負荷の低減に取り組みましょう。

●畦畔からの漏水を防ぐため、あぜぬりの徹底やあぜシートを設置する。

●水尻からの漏水を防ぐため、入水前に点検し、止水版をあぜより高く設置する。

●水田からの排水を最小限にするために、入水までに田面の高低差をなくし、浅水(地面8割、水面2割)で代かきする。

柑 橘



別れの季節から出会いの季節へ、4月が始まりました。植物の成長も春を感じる時期になりました。

まず知っておいていただきたいのが今年の温州みかんは豊作年です。2年前の豊作年を思い出すと、たくさんのお花が咲き着果過多となりました。極めつけは夏秋期の高温乾燥で小玉果大量生産となり樹勢が衰弱し農家経営にも大きな打撃がありました。あれを繰り返さないために4月に重要なのが摘蕾です。着花過多は開花後に樹を弱らせる大きな原因となります。地道で時間を要する作業となりますが、花が多い樹の樹勢維持にはとても有効な方法です。可能な範囲で行ないましょう。樹勢低下しやすい老木樹や、苗木など樹冠拡大したい樹を中心に行ないましょう。

早い樹は下旬には開花が始まりま

す。近年の温暖化で柑橘の開花も早くなってきていることは確かです。着花が多い樹は開花が早くなりま。今後の気温が影響することなので咲き始めてみないとわかりませんが、4月中旬には開花期防除の準備は完了しておくようにしましょう。

落葉果樹

気温の上昇とともに生育は進んでいきます。発芽や開花、病害虫の発生状況を確認し、芽かきや防除など管理を進めていきましょう。

晩霜害について

3月の気温が高く推移した場合、発芽や開花など生育が早まる場合があります。そのような状況の中、急激な温度低下に遭遇した場合晩霜害が発生します。晩霜害は、芽や花の枯死など生育や収量に大きく影響します。対策は、防霜ファンの設置や散水法などありますが、費用や労力がかかり難しいのが現状です。

芽かき

落葉果樹の生育は、展葉など生育初期は貯蔵養分で賄われます。そのため、貯蔵養分が有効に利用できるよう、発芽時に予め不要な場所へ発生した芽を除去し無駄な養分の使用を抑えます。また、枝の混在の抑制、

注意する病害虫

クワゴマダラヒトリ(ケムシ類)
(写真)：雑食性で新芽や花を食害する。何年かおきに大発生して問題



▲芽かき後



▲芽かき前(ぶどう)

せん定等の作業軽減にもつながります。栽培されている落葉果樹の樹勢状況(枝の伸長や葉の大きさ)をみながら、時期や回数を判断し芽かきを行ないます。樹勢が強い場合は、時期を遅らせ数回にわけて芽かきし、樹勢が弱い場合は早めに芽かきを開始します。芽かきにより落とす新梢としては、枝の上面から発生した新梢や密生部分、下垂枝などを除去します。

家庭菜園

4月になり暖かい日が増えてきました。本格的に野菜苗等の植え付けや準備が始まる時期になります。最近はとても早い時期から夏野菜の苗を購入することができますが、

アブラムシ類：芽や葉の伸長や生育を抑制する。発生初期に防除する。
イチジク：そうか病、アキノキクイムシ
モモ：せん孔細菌病・縮葉病・灰星病



となることがある。発生しやすい条件として、山地や山林と隣接する果樹園、産卵植物であるアカメガシワなどが多いと大発生の危険があるため注意する。早期発見に努め、見つけ次第捕殺する。

野菜苗等の植え付け

夏野菜については寒さにとても弱いものもあります。晩霜の恐れが少なくなってきたからの植え付けを心がけましょう。

①準備
植え付けの大まかな流れは次の通りです。

②植穴
野菜苗のポットの大きさよりも大きな植穴を掘り、土壌が乾いているようであれば水をやりましょう。

ジェイエース粒剤
(植穴散布・株元散布)



RACコード 1B

プリロン粒剤オメガ
(株元散布)



RACコード 28

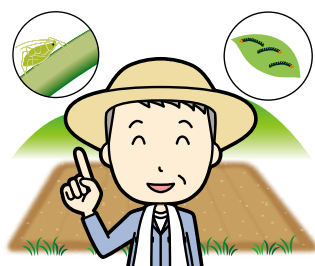
③植え付け

人差し指と中指の間に苗の根元をはさんでポットを逆さにし、根鉢を崩さないようポットから抜きましょう。植穴に苗を置き根が腐るリスクを軽減させるために、根鉢の高さが土壌面よりも少し高くなるように植え付けましょう。

④害虫対策

植え付け後にアブラムシやアザミウマなどの害虫が発生すると、その後の収穫量にも大きく影響してきます。植え付け時にジェイエース粒剤などの農薬を植穴に散布したり、または株元に散布するなど害虫の防除をしましょう。

これらの薬剤の成分は、根から吸収されて作物全体にいきわたります。葉などに薬剤成分がいきわたるので、葉自体が殺虫効果を持ちその葉を食害した害虫や吸汁した害虫を駆除できます。長期間効果が持続するので害虫駆除だけではなく、害虫予防にも効果があるのでこのような農薬の使用も検討しましょう。



Information お知らせ

かがやき通信 女性部活動

女性部大会・家の光大会 5年ぶりに開催！



▲「家の光」記事活用作品を展示しました♪



▲挨拶をするJA女性部
三原地区本部
下久保幸子部長

私たちをとりまく環境が大きく変化する中、「出来ることから始めよう」を合言葉に地道に取り組んできた。豊かな食と農を守るためにもJAひろしまを拠点に地域に根差した活動を広げていこう。



▲挨拶をする田中義彦組合長

J A女性部三原地区本部は2月6日、三原市のJ Aビルで「女性部大会・家の光大会」を5年ぶりに開き、管内14支部の女性部員やJ A役員ら約160人が参加しました。女性部活動体験発表やアトラクション披露の他、「家の光」持ち寄り読書なども実施。2024年度の女性部活動について報告し、大会申し合わせでは教育文化活動や生活文化活動の実践を通して地域で支え合う組織づくりに取り組み、共同の輪を広げることなど5項目を確認しました。

アトラクション披露



▲【佐木支部】踊り「七福神」



▲【本郷支部】邦楽演奏「月の旋律」



▲【幸崎支部】踊り「日本の男」



▲【小泉支部】レクリエーションダンス「さがり花」

5月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。
ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		三原西 せとだ	三原 三原西	三原 本郷	三原 鷺浦					三原 三原西					年金相談会 幸崎支店		三原 三原西						三原 三原西							
			本郷 鷺浦	本郷 鷺浦	本郷 鷺浦					本郷 久井							本郷 久井						本郷 久井							
			久井 鷺浦	せとだ 竹原	せとだ 竹原					久井 鷺浦							久井 鷺浦						久井 鷺浦							
			せとだ 竹原							せとだ 竹原							せとだ 竹原						せとだ 竹原							